



[受験生の多さに驚きました!]

■ 上村 亜希さん (総合本科生)受講

公開模試はTACだけ受験しましたが、公開模試を受験する人の多さに驚いたことを覚えています。たくさんの人が受験する中で、周りの音や雰囲気慣れる必要があることを、模試を受けて強く感じました。また、模試の一般知識の問題は、過去問と違ってタイムリーな話題が問題として出されているので、復習の際に幅広く勉強するようにしました。



[学習状況の把握と弱点部分の発見ができる!]

■ 日下部 幸隆さん (総合本科生)受講

全国公開模試を利用することにより、試験本番の雰囲気を経験することができ、時間をどのように使えばいいのかを試すことができるので良かったです。そのほかにも、模試の結果により、自分自身がどのくらい学習できているのかを確認できますし、弱点部分を見つけることもできます。試験本番では何があるのかわからないので、その不安をなくして少しでも自信を持って試験を受けるためには、公開模試を受験することは大切なことだと思います。



[通信生でもTACの教室で受験してよかった!]

■ 大川原 丈博さん (総合本科生)受講

私はWeb通信講座で学習していたため、TACの教室には行ったことがなく、他の受講生との接点もなかったのですが、本番の雰囲気を知るために全国公開模試だけは教室で受けました。周りに受験生がいる中で試験は、見直しを行う時間を含めた時間配分の必要性を感じるなど、直前期に非常に役に立ちました。



[実戦形式の模試をこなすことが重要!]

■ 範国 友亮さん (実戦合格本科生)受講

全国公開模試のように実戦形式の模試をたくさんこなす事が重要だと思います。きっちりと時間計ってその中で出来る限りの点数を取る訓練と、模試当日か翌日に少なくとも同じだけの時間を使っての復習をしていました。正答できなかった・わからなかった問題は、今見つけられて幸運だったと思うようにして、モチベーションを保つようにしていました。

【その他、多くの合格者の方からも模試の受験を勧める声が寄せられています!】

■ 和田 実さん
(総合本科生)受講

○全国公開模試を受験した結果、直前期に強化すべきことが明確になるだけでなく、自分で全く気付いていなかった苦手分野を発見できて驚きました。また、本番で難問に深入りせずに踏みとどまれたのは、全国公開模試でベース配分が逆算できるようになっていたおかげでした。

■ 山本 貴哉さん
(入門総合本科生)受講

○本試験とほぼ同じ条件で問題を解くことにより、問題を解く時間配分が確認できます。できなかった問題やわからなかった肢を見直し、自分が起こしやすいミスや知識が不十分な点を確認します。模試は本試験までに何をすべきかを知るために利用し、点数は良くても悪くてもあまり気にしないほうが良いように思います。

■ 金沖 完さん
(恵・民学習者バック)受講

○全国公開模試の問題のレベルは、近年の出題傾向を踏まえていて適切だったと思います。本試験会場に近い雰囲気の中で受験することで、本番に向けての慣れや時間配分についてつけの練習になりました。残念ながら、その時は一般知識が合格基準点を下回ってしまいましたが、法令科目で180点を超えていたので、本試験に向けて自信をつけることができました。